

山辺高等学校生徒と県議会議員との意見交換会開催状況

開催日時	令和7年9月1日（月）15時45分～17時15分
開催場所	山形県立山辺高等学校（山辺町）
出席議員	榎津博士、橋本彩子、高橋弓嗣、石塚慶、吉村和武
参加者	2～3年生 13名
意見交換の概要	<p>生徒6名により各学科の活動報告が行われた後に、「山形県の未来を担う人材の確保と養成校の環境整備」について、食物科A班、福祉科B班、看護科C班の3班に分かれてワークショップ形式で意見交換を行った。また、各班で取りまとめた内容を生徒が発表した。</p> <p>【主な意見等の内容】</p> <p>(食物科A班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山辺高校についてより多くの場所で情報を発信するため、様々な企業等に就職している卒業生から協力してもらうのがよいのではないか。また、山辺町とのコラボレーションや、農業に注目が集まっている中での生産者とのコラボレーションなど、新しいことにチャレンジすることも大切なのではないか。 ・今はキャッチフレーズが「『あい』で育つ」の一つしかないが、増やしていくともっとPRしやすいのではないか。 <p>(福祉科B班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「福祉=介護」のイメージを変え、「大変」というネガティブなイメージをポジティブなものに変えていくためにできることを3つ考えた。 <ol style="list-style-type: none"> ①在校生がなぜ山辺高校の福祉科を目指したのかを知ってもらうこと。 ②学童保育の児童と老人ホームの距離を近づけ、福祉に憧れを感じてもらうために、高齢者の方々との交流活動として実施している「ふくしかカフェ」に小学生を呼び、実際に高齢者に山辺高校生が接しているところを見てもらい、福祉の魅力を知ってもらうこと。 ③広報媒体を拡げるため、県議会にポスターを貼ることや、学校だけでなく県のホームページにも情報を掲載すること。 <p>(看護科C班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校を訪問し、どのような学科なのか1年生から3年生までしっかりと伝えるとともに、保護者にもPRすることが大切ではないか。 ・看護師国家試験の合格率が100%であること、大学よりも学費が安いこと、高い給料や再就職のしやすさなど将来性についても強くPRすることが重要ではないか。 ・県外からの入学者を受け入れ、寮の情報も発信するとよいのではないか。 ・他県の看護科コースのある高校とも交流し、互いの魅力を知ることもよいのではないか。